

亡くなった友を偲びながら
訪れた古墳

みより

三因古墳

〔総社市〕

福山のふもとの西斜面には、総数200基を超える古墳群が認められます。

古墳時代後期にあたる6世紀後半～7世紀中ごろに築造・使用されたものが主となっています。天神古墳群、満貫古墳群、峠古墳群などの支群に分かれ、これらを総称して三因古墳群と呼んでいます。全国においても有数の規模を誇る古墳群です。 「総社市公式観光WEBサイト」より

その南端、福山の西山麓に、三因古墳群はひっそりと身を寄せ合っていた。寄せ合って、というのは、山腹や尾根筋、さらには谷斜面といった場所ごとに、数基から数十基の円墳が群れをなしているからだ。



満貫古墳群位置図



峠45号墳



天神46号墳



天神59～61号墳

——さきほどから私は、眼の前の直径が五メートル程の塚に見入っていた。